



# 兵庫県議会議員 自民党県議団副幹事長 春名 哲夫 県政報告 第25号

■発行日 平成30年3月25日

■発行者 春名 哲夫

◀自民党県議団副幹事長として新年度予算編成に向けた調整に当たりました

## 兵庫、宍粟の未来を開く

「県政150年 未来への扉を開く予算」と井戸知事が銘打つ平成30年度県当初予算案が第339回定例県議会上程され、活発な審議の結果、原案通り可決、成立しました。一般会計、特別会計及び公営企業会計を合わせた総額は3兆7,138億円にのぼります。平成30年度は、阪神・淡路大震災からの最終年度となります。県民の皆様の理解と協力のもと議会も一体となつて厳しい改革に取り組み、目標の收支均衡を達成することになりました。一方、県政150周年の節目の年であり、記念事業の展開、地域創生の本格化など「新時代の兵庫づくり」をめざすスタートの予算として編成されました。



### 予算特別委員会設置 本会議で動議を提出

第339回定例県議会2月28日の本会議で、平成30年度予算案を集中審議する予算特別委員会を設置するため、自民党県議団副幹事長として、議長に対し動議を提出しました。

### 議長一

この際、動議を提出いたします。只今上程中の議案の内、平成30年度関係、第1号議案ないし第23号議案、第52号議案につきましては、この際22名の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、慎重に審議されんことを望みます。各位のご賛同をお願いいたします。



私の動議が可決され、22名の予算特別委員会が設置されました。

## 行財政構造改革の目標達成へ



### 知事による 予算説明 五国の強み活かす

県政150周年を期して、兵庫の新時代を切り拓く施策を進めていかなければなりません。平成30年度予算編成に当たっては、厳しい財政環境のもと、行財政構造改革の総仕上げに取り組みながら、県民の要請に的確に対応する選択と集中の徹底が図られました。

2月16日の議会開会日、提案説明に立った井戸知事は、「未来が不確定であればあるほど、活力を保ち続ける上で、多様性が問われ

ます。兵庫は五国からなる地域の多様性を強く保ち続けています。この強みを活かすのは一人ひとりの県民の力。今こそ未来への扉を開き、新しい兵庫をつくっていくこうではありませんか」と決意を述べました。私も県民、市民の皆さんとともに全力を尽くします。

区分	平成30年度 A	平成29年度 B	増減 A-B	A/B
一般会計	18,880	19,038	△ 158	99.2
人件費	4,685	4,673	12	100.3
税交付金・還付金	1,441	1,575	△ 134	91.6
県民税所得割臨時交付金	44	304	△ 260	14.6
その他の税交付金・還付金	1,397	1,271	126	109.9
公債費	2,681	2,749	△ 68	97.5
政策的経費	10,073	10,041	32	100.3
ひょうご地域創生交付金事業	20	0	20	皆増
県政150周年記念事業及び関連事業	25	0	25	皆増
特別会計	15,476	10,952	4,524	141.3
(新設)国民健康保険特別会計	5,085	0	5,085	皆増
公営企業会計	2,782	2,070	713	134.4
合計	37,138	32,061	5,078	115.8

## 平成30年度 宍粟・西播磨主要事業

西播磨県民局では、“光”（人・地域・産業がキラリと輝いている）と“水”（森・川・海が美しく連なっている）と“緑”（森林・農地・都市がいきいきと彩られている）が、地域のすみすみまでネットワークを形成し、西播磨の地域全体が躍動することをめざし、さまざまな施策を推進している。

平成30年度においても実現に向け、「戦略的なツーリズム振興による西播磨の賑わいづくり」「活力あふれる西播磨の暮らしづくり」「安全安心な西播磨の社会基盤づくり」の3本の柱に基づき、個性あふれる事業を展開していく。

### I 戰略的なツーリズム振興による西播磨の賑わいづくり

#### カヌーの聖地「音水湖」づくり 引原ダム60周年記念事業を実施

##### 【西播磨ツーリズム振興協議会「戦略会議」の設置】

西播磨ツーリズム振興協議会内に、県民局、市町、観光協会、有識者からなる戦略会議を設置し、西播磨のツーリズムを戦略的に推進するための企画・立案機能を強化する。

##### 【カヌーの聖地「音水湖」づくり】

西日本一のカヌー競技場として、にぎわいを創出するとともに、大規模競技大会や東京オリンピックの合宿誘致を目指し、会場環境を整備する。



環境整備を推進競技場の



森林セラピーへのバスツアーを実施

景街道づくり事業を支援する。

##### 【西播磨楽農大学（都市農村交流アグリツーリズム）】

西播磨地域の山、川、海、田んぼを「キャンパス」に、野菜収穫やそば

との交流を促進する。

平成30年度は、サイクリングコース検討会を設置するとともに、サイクリング魅力発見シンposiumを開催する。

##### 【西播磨まるごとバスツアー】

西播磨の豊かな自然や歴史、文化等を満喫できる特色あるバスツアーを促進する。

ハイキングコース案内

板設置、記念ダムカード作成・配付、フォトコンテスト、観光放流などを検討している。

##### 【サイクリングde地域活性化】

西播磨地域を周遊する

サイクリングコースの設定、サイクリングマップの作成、駐輪施設やルート案内標識の設置により、サイクリストと地域

を行なう個人を西播磨縁結び推進員として委嘱する。

##### 【西播磨就職フェア】

若者等のUJTI

センター、地元定着を促進する

ため、大学生、高校生を対象に西播磨地域の企業

が参加する合同説明会を開催する。

開催時期は平成31年3月、姫路市内で50社以上の出展を得て、大学3年生、高校2年生等の参加を呼びかける。

##### 【西播磨“結婚っていいな！”キャンペーン】

独身社員への結婚の働きかけや交流の機会づくり、結婚に関する情報

の周知など、社員の結婚を応援する結婚応援企業の登録に加え、結婚に関する相談や独身者の引き

合わせなどの縁結び活動

##### 【R29賑わいづくり】

「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」による活性化事業の実施及び沿線団体による日本風

産地ブランド育成のため、生産拡大、販売促進、加工品開発等の取組を支援する。

##### 【西播磨ブランドの育成・創造支援】

管内の県立高校等の生

徒を対象とした防災教育

出前講座として防災講演、災害図上訓練、防災体験等のワークショップ、体験学習などを実施する。

##### 【高校生等への防災教育出前講座】

徒を対象とした防災教育

出前講座として防災講演、災害図上訓練、防災体験等のワークショップ、体験学習などを実施する。

##### 【高齢者福祉等の充実】

管内の県立高校等の生

等に繋げるため、ラジオ関西の人気パーソナリティ谷五郎氏が取材した西播磨地域の魅力、地域住民の温かさなどをラジオで発信する。

##### 【西播磨インバウンド受入基盤整備】

東京オリンピック開催を控え外国人旅行客の増加が予想されることから、これら外国人旅行客の誘致を図るため、モバイル端末等による多言語での観光情報発信、英語対応ドライブマップを作成する。



空き家見学ツアーで移住を応援



次代を担う若手農業者を支援

定着を図る。

##### 【次代を担う若手農業者支援】

若手農業者の経営知識の修得、相互交流等を促進するとともに、新規作目の導入や地域ブランドづくりを支援する。

主な取り組みとしては、西播磨アグリカレッジとして、若手農業者や認定農業者の経営知識等の修得に関する研修を実施する。

さらに、農業高校生、若手農業者等を対象に、農業の魅力発信、人脈づくりに関する先端・先進農業の技術・経営研修を開催する。

また、若手農業者等に対して、販路拡大、地域ブランドづくり等への積極的な取り組みを促すための次世代経営モデルチャレンジ支援事業を実施する。

##### 【ク】

曜日曜の2日間、宍粟市内で開催し、参加林業事業体は30社・団体、西播磨地域への林業就労希望者を対象に呼びかける。

##### 【西播磨アグリフロンティアカレッジプロジェクト】

6月から7月の間の土

曜日曜の2日間、宍粟市内で開催し、参加林業事業体は30社・団体、西播磨地域への林業就労希望者を対象に呼びかける。

##### 【西播磨アグリフロンティアカレッジプロジェクト】

6月から7月の間の土

### III 安全安心な西播磨の社会基盤づくり

#### 防災、高齢者福祉など充実

##### 【西播磨疏水の恵み再発見プロジェクト】

西播磨地域の疏水を地域ぐるみで守る仕組みの構築に向け「西播磨疏水保全構想」を策定し、その実現に向けた継続的な取組を推進する。

##### 【高校生等への防災教育出前講座】

管内の県立高校等の生

#### 祉サービスなどの確保に努めるとともに、地域での支え合いを推進する。

##### 【西播磨シカ「捕獲・防護・利活用」総合対策】

なシカ捕獲・防護対策を推進するとともに、地域でのシカ肉の利用を促進する。



高校生を対象にした防災教育

なシカ捕獲・防護対策を推進するとともに、地域でのシカ肉の利用を促進する。



昨年2月、多くの皆さんに議会傍聴に来ていただきました。その時、一般質問にて、現在、障害を持つ者の高校進学は、特別支援学校高等部か、もしくは普通の高校に行くかで通の高校に行くかで決まりました。しかし、現在の高等学校では特別支援することになつていいのが現状です。このため、学区内いくつかの高校で通級による特別支援教育を構築すべきだと提言してきました。

◇  
平成30年度から伊和高校で通級による指導することになりました。

今年度、宍粟市の高校3校の入学状況を見ると少しある高校で通級による指導することになりました。

- 福祉のまちづくり条例（平成4年制定・22年改正）
- ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例
- 参画と協働で福祉3条例推進

※県においてもこれら3つの条例の施行は県民の参画と協働により取り組んでいかなければなりません。私はこれらの条例に批准してインクルーシブ教育の精査に取り組んでまいります。

## 県下の高校に通級による制度を構築せよ

### 伊和高等学校で認可

皆さんは、特に障害を持つ者の高校進学は、特別支援学校高等部か、もしくは普通の高校に行くかで決まります。しかし、現在の高等学校では特別支援することになつていいのが現状です。このため、学区内いくつかの高校で通級による特別支援教育を構築すべきだと提言してきました。

◇  
平成30年度から伊和高校で通級による指導することになりました。

今年度、宍粟市の高校3校の入学状況を見ると少しある高校で通級による指導することになりました。

第339回定例県議会で、福祉関係の条例が成立しましたので紹介いたします。

#### 議員提案（可決）

- 障害者等による情報の取得及び利用並びに意思疎通の手段の確保に関する条例

誰もが安心して暮らし、自己決定による能動的な社会参画ができる環境整備で、ユニバーサル社会づくりの寄与を目指すものであり、議員提案政策条例は3件目です。

#### 基本理念

障害者等に対して、生活における多様な意思疎通等の手段が確保され、自らが望む意思疎通等の手段を選択する機会が確保されなければならない。

生活における多様な意思疎通等の手段の確保は、相互の個性と人格の違いを理解し、互いに尊重することを基本とする。

#### 当局提案（可決）

兵庫県では、年齢、性別、障害の有無、文化などの違いにかかわらず、誰もが地域社会の一員として支え合う中で、安心して暮らし、元気に活動できるユニバーサル社会づくりを総合的に推進してきました。この活動のさらなる強化を目指し、同条例が成立、4月から施行します。条例を踏まえ、ユニバーサル社会の実現に向けた取り組みを一層進めていきます。

### 行革総仕上げ、収支均衡へ

#### 31年度以降の新たな枠組み検討

平成30年度は、平成20年度から取り組んできた行財政構造改革推進方策（行革プラン）の最終年度となります。

職員定数3割カット、地方機関の再編、事務事業の削減などの取り組みにより、収支均衡の達成など財政指標はクリアの見通しです。

#### 平成20年度からの取り組み

定 員	一般行政部門の職員 2,484人 30%削減
給 与	抑制措置を実施。一般職員は30年度から解消
組 織	地方機関 111事務所を 70事務所に統合再編
事務事業	2,729事業削減、新規事業は 1,327

しかし、今後も厳しい財政環境が続くものと見られます。持続可能な行財政構造を確立するため、平成30年度は、行革プランの総仕上げに取り組みながら、これまで11年間の成果を検証し、次年度以降の行財運営の枠組みを検討することにしています。その中で、宍粟市の課題を踏まえつつ、中長期的、国際的な視点をもって県当局に意見、提言を行う決意です。

#### ■事務所のご案内

県政のご相談は、お気軽に県議会議員・春名哲夫事務所まで

〒671-2576 兵庫県宍粟市山崎町鹿沢 237-5 (HTOビル2F) TEL 0790-63-0770 FAX 0790-63-0760